



■酒特集 '86神戸酒徒番附選考座談会

各分野で多士済々の活躍

〈審査員〉

●東／文化人

藤井 廉
佐田 有武
田則明

〈元町画廊〉

〈神戸新聞社編集委員〉

〈建築家〉

——恒例の神戸酒徒番附選考。ま

ず、東（文化人）からお願いましようか。大いに酒を愛し、かつ活躍された方、ということで選考していただきたいと思ひます。

A 上位陣が、頑張ってますからねえ。なかなか変わりようがありませんね。後がないからという、時と時代で内容の濃い時と薄い時があるんじゃないですか？

B 以前は、中西勝、陳舜臣とかがいると必ず徒党を組んで、賑やかな場をつくってましたよ。若手の中にはそういう人がいなくて、本当に小粒になっている。

C それに、あき穂、しゃねる、セブン、五十三次など名物の店が無くなって文化系の受け手が少なくなってきたから、今ある店を大事にしていかなければね。

★女流二横綱並ぶ！

C 田辺聖子の横綱は今年も動かずですね。カモカのおっちゃんとか神戸まつりにも出場した親指姫は華々しくってよかったですね。

A 望月美佐を横綱に昇格。スイスで作品展をやったし、飲む方の格でも国際的で賞録充分だね。

C 田辺、望月と女流二人が並ぶと非常に神戸的でユニークですね。造形部門では、やはり山口牧生が傑出している。張出横綱だね。

それから増田正和が健在。小林陸一郎も、この頃張り切っている。

B 内藤国雄は、いわゆる神戸組という意味でのリーダーですね。

C やはり飲むことにかけては大將ですからね。今回は名人谷川浩司と順序を入れ替えた方がいいね

B 筒井康隆は、意欲作品を次々と発表している。三枝和子の「花蔵院日記」はなかなかよかった。

A 石阪春生もよく頑張っているよく飲んでいるし、歌もうまい。

B 安水稔和が人物詩人達を、かなり一人ひとりまとめてますね。兵庫の詩人達を集めて、地味だけどいい仕事をしている。

C 野口武彦は、あまり動きがなかった。今年度に期待しましょう。

A 多田智満子は、現状維持で、前頭筆頭でしょうね。

C 嶋田勝次も、今年度の活躍がもっと期待される。今もマスタープランで頑張ってますからね。

B 末広光夫を挙げたいね。

C 北野ジャズストリートの成果今年のビッグニュースですよ。これは、絶対高く評価したいですね。

B 岡田美代は、加藤きよ子のモダンダンスやKFMのファッションショーの演出でいい仕事をした

A シアターポシエットの佐本進。文化的活動もだが、本職でも国際的な賞を受けましたし、高く評価したいですね。

C 美学の池上忠治が活発な評論活動をしている。



佐藤 康さん

B 村上翔雲は、名筆研究会で頑張ってるね。足立告陶、渡辺青華ら、彼の弟子がよくやっている。堀尾貞治は「ぼんくらで」で個展をやったし、東門画廊も彼のつっぱりで続いた。

A 榎 忠は「PROPAGATION (繁殖)」をテーマにした個展を開いた。巨大なオブジェに取り組ん



有井 基さん

で凄まじい迫力がありましたね。斉藤智は今年度の活躍に期待。彫刻の新谷瑛紀、英子も安定している。

C 知念正文は野球チーム神戸二紀の監督だが、洋画の方でもいい仕事をしたいですね。

C この頃、クラシック界の動きが割合活発ですね。朝比奈千足と海文堂の島田誠の神戸高校コン



武田 則明さん

ビ。新春コンサートもやっています。
A 島田は、「元町の文化と伝統を守る会」でも全力投球しました。

B 松本幸三も、いま頑張っている。ピアノの田淵幸三と、新春ジョイントコンサートをやった。松

本、田淵両幸三と矢野正文と、飲む方でも、にぎやかで神戸が湧くね。

C 伊藤ルミは、この間、シンフォニーホールで閑響とやりました。

A 若柳吉金吾が師籍30周年を国際会館大ホールで開き、親子三代揃い立派。いい師匠になりました。

C 街並ゼミをやったということ。水谷順介を評価したいね。小林都も入りたいけれど、お酒が弱

いからね。水谷復活で前頭に。
B 大森一樹は、吉川晃司を売り

出し、映画で頑張っている。彼を、やはり前頭ぐらいいに上げないと。

C 神大教授の中村茂隆が、随想集「はな唄と交響曲」を出した。

A 今年は「活動写真を語る会」を作ると言ってますしね。作曲の中村を復活させましょう。

C 演劇では劇団神戸の夏目俊二道化座主宰の須永克彦でしよう。

A 笑クリエートの楠本喬章も、恋雅亭が十一周年を迎えた。神戸の漫才、落語界を、今は彼一人で

支えているようなものだからね。
B バレエの貞松隔は、30周年と

バレエ団の20周年でよくやったし、写真集も出した。琵琶の上原

まりも華やかでよかった。いいLPや平家物語の本を出し、源平800年祭にふさわしい活躍。

C 小山乃里子も、今年本を出すそうだから、今年度に期待。小野真須美もよくやっているが、口害がなければ、もっと人気がでる。

B 能の藤井徳三。それから上田照也亡きあとの久田徹二は名古屋でリサイクルを開きましたね。

A 中右瑛が、浮世絵の本「写葉は十八歳だった」と「源平浮世絵」を出し、切り絵の成田徹も酒

場の本を出して好評だった。
★敢闘賞は榎忠に！

——では三賞の選考に入ります。
A 敢闘賞は榎忠にしたいですね

C 彼のいままでの作品を一つに集めることができたのなら、立派な美術館ができたことだろう。造っ

てもすぐこわしてしましますからほんとうにもったいない。

B 中村茂隆は技能賞という感じがすね。

C 大森一樹を殊勲賞に。監督らしくなってきたという事で——

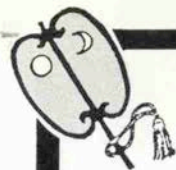
で評価を受けたということ——
A 去年の話題といえば鴨居玲の

横綱現役討死というのが出ています。飲んで死んでしまった。

B 全く壮絶なる戦死でしたね。
C 織田正吉と松本宏は身体を大

事にしてほしいので休場に。

——



■酒特集

'86神戸酒徒番附選考座談会

十両勢に新しい顔が登場

〈審査員〉

●西／経済人

健 泰市
下 宮 章
木 西 月

〈三富商店社長〉

〈大工建設社長〉

〈月岡倉庫社長〉

— それでは次に、西／経済人の方をお願いします。業績面はむろんのこと、酒品そして酒量、この三点を加味し選考していただきたいと思います。

★実力伯仲の三役陣

A 神戸で精力的に働いている、田崎真珠の田崎俊作は、不動産の横綱だね。昨年、株式を大証二部に上場しているし…。

B 話題性なら断然風月堂の下村光治。ポートアイランドのファッショントウンにあるゴルフポートピア88やハワイ店をオープンしたということもあり、横綱昇進は問題ないだろうね。

C UCCは、シェアとしては、全国的・世界的になってきてはいるが、上島達司はまだ年齢的にも若いし、将来もう一度横綱にということで、今回は大関ということに我慢してもらおう。

B もう一人の横綱は前回同様、ワールドの畑崎廣敏で…。神戸であまりお酒を飲んでないみたいだけど、スポーツイベントなどに積極的に貢献している。

A 張出大関には、樽本産業の樽本久、神戸ポートピアホテルの内力というところかな。新館建設の予定もある。

C 実績からいって伊藤ハムの伊藤研一を閣脇に据えることにし、次には驚異的成長を続けてい

るシャルレの林雅晴を二挙にもってこよう。

A 島文工業の島田文六は、神戸で全然飲んでない。神戸を土俵にしてほしいね。今回は勝負検査役ということにして、次回にまた期待しましょう。

B 川西倉庫の川西章二は、森本倉庫の森本頼二の後任で倉庫協会の会長に就任したので小結に昇進ということに…。

A ファッション関係では、ジャヴァの細川数夫も頑張っているよだね。

B 淡路屋の寺本晃は本業の弁当以外でのレストラン経営でも業績を上げているね。

★前頭は大幅な変動なし

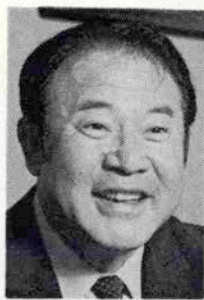
C ノザワの野澤太一郎、淡路フエリーの井植貞雄は前回と同じく小結筆頭、二枚目で…。

B 酒徒番附になくはならないつるや衣装店の島田光夫を、カワノの河野忠博の次に。

A 神戸マツダの橋本一豊は新人幕だが、実力からいって前頭の前の方だね。

B 小林桂の小林博司、弁護士のア部清治とつづいて、そのあとが木下真珠の木下章夫、ベルの東中弘吉が順当なところかな。

A 今年、新社屋の出来る森真珠の森隆も忘れてはならない。
C 去年は社長就任ということで



木下 健 さん

大幅に昇格した沢の鶴の西村隆治は、今年はこのあたりで落ち着くかな。

B 六甲パターの塚本哲夫は、社長になって新社屋も完成し、営業成績も上がっていることだし、前頭に昇格。

A ゴンチャロフの光葉貞男、宮田組の宮田喜夫もこのあたりだね



西宮 章泰 さん

C それから、去年「パテントビジネス」を出版し、結構売れている角田内外国特許事務所の角田嘉宏は前頭に昇格させたい。

B 昨年度の神戸青年会議所理事長の中尾襄には前頭の最後を飾ってもらおう。

★新顔の活躍が目立った十両勢
B 十両勢はどうだろう。



月岡 清市 さん

A 筆頭には白鶴酒造の嘉納秀郎かな。この業界も若返っているね。

B 神戸海岸病院長の小倉 一。昨年、病院を増築した。

C 新築といえば、高嶋酒類食品の高嶋良平は最新設備の工場を完成したね。サンコトブキの細谷俊雄は、店舗数を増やしつづけているようだし…。

A マツクの植村孝一は本業の紳士服販売の他、三宮の街づくりにも積極的に取り組んでいる。

C 新顔ではどうか。

B 甲南学園の常務理事をやっている大牟田育宏、この人は酒品、量とも申し分ない。

C それと、帝真貿易の金井譲治、JCCI（国際青年会議所）の会頭をねらえる大変将来が楽しい男だよ。

A 若手の台頭といえば、高橋パールの高橋洋三は真珠業界のニューリーダーとして、PCK（パールシティコウベ）推進協議会の発足など積極的に活動している。

B もう一人、真珠業界から大星の大月京一。本年度の神戸JCI理事長としての活躍が期待されている。自動車販売からはもう一人、神戸いすゞの森川正興にも幕入りをしてもらおうか。

C 元町の街づくりで頑張っているインテルナ北村の大谷靖幸は、神戸ロータリークラブにも入った

し、地域の活性化に大いに貢献した。

A 福大実業の尤昭福も忘れてはいけない。神戸JCI理事長時代から取り組んでいるケーブルカー・バスを走らせる話はかなり具体的なところまで進んでいるようだ。

B 取組場所を代表してクラブるふらの浦野久子、トムキャンテイの榎晴夫に入ってもらおう。

A 榎は日本バーテンダー協会の副会長にも就任した。

C 洋菓子界の若手からはコスモポリタン製菓のバレンタイン・V・モロゾフ。そして、神戸ワインクラブを主宰している今井商店の今井拓雄。これで十両陣も顔が揃った。

——では、次に三賞の選考に移りたいと思います。

A 殊勲賞はゴルフポートピア88の下村光治で問題なし。

C 横綱昇進の上に殊勲賞というのは出来すぎという気もあるが、話題性からいっても妥当だな。

B 出版された本が増版中という弁理士の角田嘉宏に技能賞をあげたいね。

C 本を出すだけでも大変なのに売れるというのは立派だね。

A 敢闘賞には元神戸JCI理事長で「新国際都市神戸の創造」に頑張って取り組んだ中尾襄に決定しましょう。
△敬称略▽



極めたこの味
まろやかさ

五年間守り育てた極上品

金盃超特級(秘蔵酒)

1.8ℓビン詰・木箱入

[限定品] ¥10,000



灘の清酒

金盃

金盃酒造株式会社

本社/神戸市東区大石東町6丁目3番1号
TEL 神戸 078 871 5251(代表)
東京支店/東京都中央区新川1丁目14番5号
TEL 東京 03 553 2601(代表)



杜氏とは、酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。杜氏の出身地、兵庫県丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸時代宝暦年間における記録が残されているほど。その丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小鼓は醸造されています。

兵庫県氷上郡市島町中竹田 合名会社 西山酒造場 ☎07958(6)0331



但馬は、兵庫県北部地方に位置し、冬季は山里で2メートルの積雪をみることもまれではありません。現在約2000人の季節酒造工が全国の酒造場で日本酒の生産に励んでいます。香住鶴の石津六郎翁は但馬杜氏の優秀な技術と伝統を受け継ぎ、労働大臣賞を受賞した名杜氏です。

兵庫県城崎郡香住町森 香住酒造有限公司 ☎07963(6)0029

神戸酒徒番附

[illegible]

■
K O B E の
たそがれ文化は
なぜ
楽しい
？

■その1

神戸たそがれ文化論

田中國夫（関西学院大学社会学部教授）

■その2

神戸で飲むとき遊ぶとき

有沢

武

望月 美佐

池上 忠治

川端 柳太郎

松本

幸三

松本 尚 蔭

中尾 襄

丸山 千恵子

窪田

哲夫

堀尾 貞治

島田 誠

丸山 千恵子

（雪）編集長

今井 啓介

田中正樹

山田 恭正

大島 智恵

（声楽家）

（造形作家）

（海文堂書店社長）

（アルフイーオーナ）

（広告代理店勤務）

特集／その1 〈神戸たそがれ文化論〉

イツキイツキは愚の骨頂

田中國夫（関西学院大学社会学部教授）

酒を飲んで品のいい人、つまり酒品のいい人、ステキな飲み方のできる人と、酒品の悪い人がいますね。結局酒は人の心を和ましていく融和剤の役割を果たすわけでしょう。

大事なのは人と人とのコミュニケーションです。最近心理学に出てくる言葉に“self-disclosure”というのがあります。日本語に訳すと「自己開示」——これは自分の心をひろげて相手にせまるということです。自分の心を開かないと相手も開かないし、酒を融和剤として自分の心を開くと相手も心を開く。昔から「胸襟を開く」という言葉があるように、論理、理屈だけじゃなくて、情感で心を開き合ってなごやかに語り合うことができるようになるための一つの適切な融和剤、添加物という感じがしますね。これが節度ある自己開示で、しかしあんまりいきすぎると具合が悪い。泣き上戸などというのもいて、節度をこえて自分を傷つけながら泣いたりからんだりすると、これは醜いしね。というてあまり開かんで理

屈ばかりいっていても面白くないしね。

酒品のある人というのは、酒を飲みながら非常に節度のある心の開き具合で、楽しい会話のできる人です。

会話の中には二種類あって、一つは段取り、契約、職場でのいわゆる「仕事の言葉」で、もう一つは、「人間の言葉」といって、おしゃべりすることによって何とはなしに心がなごむ、そういうことば。コミュニケーションの最もスタートの段階はあいさつことばです。「こんにちわ」とか「天気がいいですね」「今日はよく冷えますね」というのは、仕事のことは何でもなくて、こんなことばかりいっていいは、仕事の段取りも進まない。だけど、これを抜いたら人間と人間の心がなごまんでしようそのことばを交わすことによって何となく安堵感を得る言葉を「人間的言語」「人間の言葉」といいますが、そのことばをもっと広げるとつまり「雑談」です。気のきいたしゃれた雑談、お互いが納得し合え、一致できる会話、あるいはいがいががあっても、自分とちがったこん



田中 国夫さん

な考えがあるんだという安定感もてる会話、同じ喜びと、ちがうフレッシユさみたいなものを感じ合う会話が雑談です。こういうしゃれた雑談を交わし合える融和剤みたいなものが酒……。そんな気がしますね。ことばの遊びを交わし合えるのが酒ということでしょうね。

しゃべっていて楽しい人、話題のある人、その中にまじめな話もでて楽しい人という……。神戸大学の新野幸次郎学長は楽しい人ですね。国立大の学長ですが。何で楽しいかという、非常に「聞く」ことのできる人なんです。上手に適切に聞ける。何時間しゃべっても楽しい。誰にもしゃべらせ、自己開示ができ、適切にたずねることが出来る人なんです。

それから神戸で楽しい人という、亡くなられた「うなぎの糸平さん」こと鎌田糸平さんが楽しかった。あの人の楽しさは何だろうな。酒は大好きだけれども、酒をたしなみながら、実に多様な人、多趣味な人で、新聞記者であろうと、絵描きであろうと、(あの人自身、うなぎを焼きながら絵を描いていて)、学校の先生であろうと、エンジニアさんであろうと、どんな人に対しても本当にその人にいろんなことをしゃべらせ、いろんなことを吸い取りつつ、まろやかにかつ鋭く自分を主張する人だった。あの人の所には国立大の学長さんをはじめ、いろんな種類の人が商売をこえて集まってきていましたね。酒飲みながらその人が社会でもっている役割、地位を

こえた魅力が会話の中で発揮できる人が魅力的ですね。いかにも重役的、社長でござんというの、酒を飲む値打ちのない人ですよ。役を離脱しても持っているものが鮮かに出てきて、かつ本人の魅力を発揮させる、そういう人は女の人からも好感を持たれますね。

これも故人ですが、畑専一郎さんなんか面白かったです。今しゃべりながら、畑さんの顔が思い浮かんでくるけれど、今言ったような条件を、みな満たしていて、神戸新聞論説主筆というような感じじゃなかった。畑さんには酒を飲む順番があって、順序は忘れましたが、酒の種類で順番を決めて最後に何かで終わらせていた。家に帰ったら猫にも飲ませて(笑)、それで締めなんです。

最近の学生の「一気飲みなんか最低ですよ。酒を飲む訓練ができてない。できないままで大きくなったんですね。私は学生に、飲まない人に無理強いしたり、からんだりしたら絶対あかんときつく言ってるんですが、そういう事を教える人が減ってきていますね。

それに今の若い者は酒を飲まなくなりました。昔の学生の方が飲んだ気がしますね。

今の若い連中の中で「親友」というのが死語になってきている。カジュアルフレンド、インスタントフレンド。しかも種類別の。テニスの友達、コンパの友達等、用途別に別れています。酒を飲みながらお互いに胸襟を開いて語り、学問を語り、というののは昔の話ですよ。酒の役割が、おもしろい連帯感、かりそめの連帯感、場の維持だけになってしまった。一人一人が自分を膨らましていくために酒を飲む、ということをしなくなつた。安心感を持ちながらシリアスな話をし合うというようなことは減ってきています。何となく話題が途絶えて、みんな「シラーツ」とかいってしらけるわけです。すると誰かがそれを回避しようとして一気一気になる。ナッシングカオールの、おもしろいオールの一気一気ですね。

□ママの姿勢と人柄がポイント

有沢

武

△兵庫県眼科医会会長▽

日進月歩の眼科診療のための学術研修の場合は、全国的にも兵庫県、神戸は熱心で内科の学者連の往来も繁しい。昼間のミーティング、ディスカッションの疲れを癒し、気分転換のための夜の三宮案内は、相手方の「神戸印象」としても多大の評価対象でもあろう。数多いクラブの中、私がクラブを利用する場合、自分の事はともかく誰を招待しても自信の持てる店は非常に数少ない。私がそれを利用する上にもっともこだわるのはその店のママの姿勢と人柄である。それによってどこまで行き届いているか、どこまで気配りがなされているか、そして店の清潔なインテリア、落ち着いたライティング、美酒に酔える雰囲気、そして納得のゆく会計は必須であろう。その数少ない一つの中に「小万」がある。このママには流石といわせるものがある。既に創業三十五年以上だ。その他、クラブ・ムーンライト、ルフラン、ラウンジ・内田、かけい、ピアノバー・花屋敷。



■クラブ小万

神戸市中央区中山手通1-114-1 (東門筋)
TEL.078-391-0638・4386



有沢 武さん

□神戸の店と洋

望月

美佐

△書家▽

最終の神戸駅に降りる。きらきら輝く夜の三の宮の街の灯が見えた瞬間、ほっとする。タクシーに乗って「東門筋へ」と告げる。神戸は私の大きな家なのだ。「神戸っ子」に掲載されているお店はほとんど私の応援間のような関係だけれど、茶の間の感じで通うのがぼた焼の「酒肆大関」で、鹿児島娘がお揃いの着物姿で明かるく可愛い。酒は大関を神戸中で一番売り上げる店だ。私が友の会の会長を引き受けている関係で東京のお客様や外国の人をよくお連れする。渡辺美佐子さんの一人芝居「化粧」の打ち上げパーティーも全員をご招待して大変に喜んでいただいた。鯛のいけ造りがついても値段の安いことで若い男女にも人気がある。その帰りに必ず立ち寄るのが「トムキャンティ」で榊晴夫さんご一家との交際も長い。中田実郎さんのピアノを聞きながら、洋酒を傾ける雰囲気はハイカラ神戸にぴったりのお店で、紹介した人達は必ず通ってください。



■酒肆大関

神戸市中央区下山手1-2-2 (生田神社前)
TEL.078-332-0090
4:00PM~11:00PM 年中無休



望月 美佐さん

□今宵はどの店に…

池上 忠治 △神戸大学教授V

簡単なものをつまみながら、適当なアルコールをほどよく飲む。ウイスキーでも日本酒でも焼酎でもかまわず、ただビールはあまり好きでない。

六甲ではスナックのクリス、諏訪山なら薩摩道場。どの店にとっても私はさほど良いお客ではないはずだが、つきあいは長い。要するに、それだけ年をくっているということだろう。

三宮ではガード下の縄のれんたぬき。わずかに西へ寄ってめばえ。もう少し西へ行けばきむら。さらに西の方では鯉川筋に近い苦屋近安。ここでは日本酒の原点をいろいろと教わる。

三宮からやや山の方に寄ってスナックからす。もう少し自宅に近くなったところで梅華。店が混んでいなければ、ここで手短な原稿を書いたりする。

みな気がおけなくて正直な店です。それにカラオケ公害もない。今晚はどこにしようかなあ。



■めばえ南店
神戸市中央区下山手通 2-1-7
TEL078-331-6792
5:00PM~11:00PM
日・祝休



池上 忠治さん

□だんらんのある酒場

川端柳太郎 △神戸大学教授兼部教授V

ことに冬場はビアホールがいい。ほかほかとした雰囲気での生ビールの舌ざわり、のど越しは何ともいいない。阪急三宮、西口近くのアサヒビヤハウスの黒生は、冬でも新鮮な味わいがある。それにここでは他の店にない味がある。ロールキャベツの肉と野菜を逆に巻いたルーラーデンや、ばかでかいオムレツ、チーズと玉ねぎを練るオニオンブルーなどの風味はここにしかない。

夏の喧噪はなく、ひとり静かに沈むこともある。でもたいていは学生と来たり、朝日カルチャーセンターの講義の帰り、五、六人で立ち寄る。はじめはおずおずとついてきた女子学生や主婦が、たちまち、酒とほろ酔いの味を覚える。ちよっとした誘惑者の気分になる。そしてだんらんの花が、かしましく開花する。

店ではドイツ風レストランなどと気どっているかもしれないが、私はだんらんのある陽気な酒場として利用している。



■アサヒビヤハウス・コーベ
神戸市中央区北長狭通 1-28
TEL078-332-0593
11:30AM~9:50PM
第3火曜定休



川端柳太郎さん

□乾杯ノ「サルーテ」

松本 幸三 ▲声楽家▽

風見鶏の館の西三十米、白い異人館の向かいに「サルーテ北野」が一昨年十二月オープン。「サルーテ」はイタリア語で健康と幸福を祝って乾杯するときの言葉。オーナーの中西さんが健二、奥さんが幸子、まさに「健」と「幸」を祝して乾杯ノ「サルーテ」と恐れ多くも私が命名させていただいた。かねがねカラオケがなくておいしい料理を食べながら、気の合った仲間とピアノを弾いたり、カンツォーネを唄ったりして好きなお酒を飲める店があったらと身勝手なことを考えていた私にとって誠にピッタリの店である。昼間は観光客の多いこのあたりも六時頃にはほとんど人通りもなく、打ってかわって閑静な住宅地になる。白木の部屋で遠くでなっている汽笛の音を聞きながらちびりちびりやるのもよし、仲間をよんで「サルーテ」と乾杯しながらワイワイ飲むのもよし、オーナーが酒好きでうまい酒があればすぐに取り寄せてくれる。とにかく私にとって理想の店である。



■サルーテ北野

神戸市中央区北野町3丁目14-13

TEL.078-251-9060

11:00AM-9:00PM 月曜休

ボトルキープ ハンキーバナスター 6,000円

オールド 4,000円 洋酒懐石料理 2,000円



松本 幸三さん

□窓ごしに見える北野はワインで

松本 尚蒔 ▲日本舞踊家▽

ヒルサイドテラスの4階に神戸らしいゴージャスな雰囲気のお店があり、私はこの店をこよなく愛しています。フランスの地名からとったコートダジュールです。入口に立つとまるでシンデレラを迎えるような花々に囲まれた広い庭を見通す場所に案内され籐の椅子に腰をすえます。白ワイン（ブルゲンランドイッシャ・ヴァインツァ・ペルバンド）オーストリア産が好きです。マスカットの香りがたどよい甘党の私にピッタリ。この店はドイツ、ハンガリー等の高級ワインが豊富に楽しめます。一本一万円ぐらい、また月一回ワインパーティーがあり、テーブルマジックがユニークです。お客様は各界の方が来られていますが、経済人の方との文化交流で心なごみます。全身が燃えてきた頃、だまってピンキツシュが手元に、これはカンパリプラスグレイブフルーツジュース、美容と健康に良いようで甘ずっぱくてほろにがい感じ、くつを忘れたような錯覚で店をあとにします。



■コートダジュール

神戸市中央区中山手通1丁目22-13ヒルサイド

テラス4F TEL.078-222-7222

喫茶11:00AM-5:00PM

ラウンジ 5:00PM-12:00PM 日曜・祝日休

今年1月より昼間は喫茶店として営業。テラスでコーヒーが楽しめる。



松本 尚蒔さん

□趣味に合う店 ルーム「キルト」

中尾 襄 △朝あいらく園代表取締役

飲みに行く場合、その日の飲む相手や人数そして気分によって店を選びます。その中で、ごく少数の気のおけない仲間や一人でお酒を楽しみたいとき利用するのが「キルト」です。したがって最も自分の趣味に合った店と言えるのかもしれませんが。その基準は①観賞ないしは会話をするのに値する女性がいること。色気は対象外。

②内装設計は自然感覚の素材を使ったシックな感じの店であること。③カラオケがないこと。以上の三つが個人的に選択する場合の重要な要素、それに自家製の簡単なおつまみとよくみがかれたグラスを使っていたら最高です。

お酒の種類はウイスキーが一番好き。「キルト」ではサントリーの「山崎」をストレートで味わいます。「キルト」のカウンターのほの暗いダウンライトの下でウイスキーの色と香りを感じるときは、心に余裕のあるとき、そして神戸の街の雰囲気を楽しめるときでもあります。



■ルーム・キルト
神戸市中央区中山手1-5-13
(エビラビル5F)
TEL078-321-2477 391-4814
6:00PM~12:30AM
日・祝日休



中尾 襄さん

□センチティブな空間

丸山千恵子 △大工建設㈱広報企画室室長

昏れなずむ空の、一隅を燃やす朱鷺の色。蠟燭の揺れる光り色。

なんでもない時の、なんでもないひととき。

秘めた昔の思い出と、まだ見ぬ未来のやすらぎが交差するその瞬間に、暖かな、豊かな心を本当の手に戻せる感じがします。

“THE BAR”

なんでもなく、なにもなく。そして、センチティブな感性の響くこの空間。

明るくなく、暗くなく、ゆったりとした時間を浴びるにはほどよい明りが、今もなく、昔もない微睡みの中に酔わせてくれる。

MOODY過ぎず、SPICY。

きつと時間とは関係なく、いつまでも行き続ける私の好きな場所。

見つけてよかった。



■THE BAR
芦屋市公光町9-3 ポケットビルB1F
TEL0797-32-1942
5:00PM~1:00AM 年中無休
郊外では貴重な正統派バーです



丸山千恵子さん

□ 相手できる酒量

窪田 哲夫 △「雪」編集長V

真つすぐ帰ることはまずない。役所の部屋を出るまでが第一関門。次はさんちから阪神電車に乗るまで。第三関門は電車内と御影でバスに乗り換えて居眠りするまで。行先は要約すると、赤提灯、安い、うまい、仲間がいる、あるじがいて、カラオケがない、になる。そんな意味で山菜の六段、御影の太郎、生田新道の甚太郎、東門筋のめづ、東門ビレッジの千雅、新聞会館のトアンパル、小林ビルの葺合村（立飲）など。

一番行くのは六段。冬の間、ここで飲める丹波の銘酒・小鼓のしほりたては秀逸や。しかし、一年を通じてやはりビールが多い。キリンの太が出る店は安心して飲むが、某ビールの小しかない店は二度と行かない。寂しく、忙しくなるから。

ここのところは量は減った。それでも相手がよければなんぼでも。だが、なんぼでも飲めるよい相手は少なうりましたね。



■山菜六段

神戸市中央区琴緒町 5-4-5 三琴ビル 4F
TEL 078-231-0406
11:30AM~10:00PM
水曜定休
山菜コース 5,500円より



窪田 哲夫さん

□ 心で飲む酒 “ぼんくら”

堀尾 貞治 △造形作家V

神戸高速・大開駅より北山側へ歩いて三分のところにある赤ちようちん酒房「ぼんくら」がひいきの店である。お酒が好きでここへくるようになったのでなく、この店のカウンター・反対の壁面が我々の芸術作品をかける場所であるところからのひいきの店である。「ぼんくら」の壁面を使用させていただくことも大きなひいきの原因でもあるが、それ以上にこのマスターの心いきにひかれてすっかりひいきになった。酒というのはいきで飲むのであって主人の燃えている熱いものがある。そして行くたびに酒の味はかわって今では「ぼんくら」以外の酒は酒でないと思った。スランプの時、くつろぎの時、うれしい時等々変化し、酒はその心のあり方に沿っているもよるこびへと盛りあがる。

「ぼんくら」にかよいはじめた頃に、主人に「燃えんとあかん」といちげきくらったことがある。今も「ぼんくら」へ行くと燃えてくる。



■ぼんくら

神戸市兵庫区中道通 7-4-12
TEL 078-576-4881
11:00AM~2:00PM 5:00PM~10:00PM
日・祝日休
季節の料理 200円より



堀尾 貞治さん

□自分を取り戻すスペース

島田

誠

△海文堂書店社長△

飲む機会が多いが、馴染みの店はほとんど無い。この頃、夜の会合が多く、つれだって行くことは数知れないが、たいていついてゆく方である。でも連れて行って決して期待を裏切られたことが無いのがセント・ジョージジャパンである。私が馴染みの店をつくらないのは、知りすぎて話相手になる煩わしさや、お客同士もしだいに顔見知りになってゆく煩わしさ、ましてカラオケ騒音などもつてのほか。女の子の相手も苦手である。静かに、話したい相手と飲む。そうした小生の希望をすべて満たしてくれるのがこの店だ。眺めの良い立地。格調高い異人館建築。重厚な調度。そして静かな室内。用が無い限りほったらかしにしてくれる心くばり。話し相手が欲しければオーナーの大村幸一さんの軽妙洒脱、当意即妙の話術も楽しめる。人と粉わしたい孤独は無い。自分を取り戻したいためのスペース。それが小生のベスト・ドリンク・スペース「セント・ジョージ・ジャパン」です。



■セント・ジョージ・ジャパン
神戸市中央区北野町1-2-17
TEL242-1234 無休
11:00AM~3:00PM (一般)
5:00PM~11:00PM (会員制) ビジター可
個人会員3万円・特別会員5万円
(月・年会費不要)



島田 誠さん

□優しい兄貴、中田さんへ

大島

智恵

△ベニー毛皮店△

同じ国際会館のテナント同志という事で仲良くしてたサンのマスター近藤ことこんちゃんとその仲間達、必殺遊び人藤岡ことマック、今や昔の遊び精神を仕事に生かしハンブルグ博報堂デザインナーとして活躍、そしてニブリックのマスター中田さんに何故か紅一点私が混じってその昔、皆若くて元気で好奇心いっぱい頃、何ぞオモロイ事はないかいなど、夜な夜な神戸の夜を徘徊したものです。そんな時いつもニブリックに集合、皆のまとめ役は中田さん。彼は学生の頃からすでにこの世界に入ってたのでキャリアはすごく長いのに、ちっとも水っぽさのない不思議なマスター。それになんてたって若い！他の男共がどんなオッサンぼくなるのになだ一人、万年・青年を保っています。だって40過ぎてテクノカットの似合う男って居る？落ち込んでじっとしていると、優しいつも「チエ、どうしてる？元気にしてるか」と、優しく頭をなでってくれる、頼れる兄貴みたいな存在です。



■ニブリック
神戸市中央区下山手通2丁目10-3
S&FビルB1 TEL078-391-1809
6:00PM~1:00AM 日曜・祝日休
ボトルキープ リザーブ 9,000円
スカッチ 9,000円



大島 智恵さん

足運ばせる店

今井 啓介 △全路パール社長V

良いお店は沢山知っているが、仕事を離れて、仲間と別れて一人のんびりくつろげる店である。お互い寄り合い風に隣り同士で座ったお客さんとも、和気あいあいと呑める。

改装したばかりで狭いながらも、色調・音響・客層共に心憎いばかりの調和が保たれて、歌あり雑談あり、酒も尚佳し。お客を如才なく楽しくさせる事と言い、明るい人柄のマスター健ちゃんの手作りキープボトルが銘に、特殊色染めの出来栄えに加えて、気の効いたひとことと思いが込められていてどうしても足を運ばせる感がある。また上手を言わない雅子ママは、素気ない愛想が素人っぽくてまた善い。ゴルフコンペもデイリースポーツ後援で、小野、ジャパンエース、パインレーク等に参加者も多い。カラオケ大会はこれまた本格的、吉本新喜劇・NHK京都・神戸のアナも特別参加、一、二流歌手もゲストで来演。楽しめる事この上ない。



■生田新道・雅子
神戸市中央区北長狭通1-5-9
TEL.078-332-0051
6:00PM~1:00AM
無休



今井 啓介さん

飲ませないバーをラスト・バーに

田中 正樹 △グッド・バー同好会代表V

ラスト・バーという言葉がある。

連れ立って飲み歩き、皆と別れた後、自分自身を取り戻すため、一日の最後に立ち寄るバーを指す。例えば、国際会館地下の「国際サントリーバー」。創業31年目を迎えた寿屋洋酒チェーンの名残りの店。八席程のカウンターだけの小さな店内、音楽も無く、飾りもロートレックのポスター位。毎夜、客に振られ、磨り減った真鍮のバーに、ダルマが滑べるのを堪らえているバックボード。高橋ママを挟んで、たわいない話に打ち興じ、「人間らしくなったかな」と呟きながら家路を辿る男達。

義理酒でしこたま酔った夜のことだった。ようよう辿りついた「国際サントリー」のカウンターで、酔眼の前にドンと置かれたサントリー・ホワイト。「飲めるものなら飲んでみなさい」との荒き語氣に、高橋ママの顔を見上げると、大きな眼が潤んでいた。客思いのママとながしくお付き合いしたいラスト・バーである。



■サントリーバー
神戸市中央区御幸通8丁目国際会館B1
TEL.078-221-0703
4:00PM~10:30PM
日・祝休



田中 正樹さん

□エンターティナーの集う店

山田 恭正 ▲ブティック・アルワイアー オーナーV

大きめのグラスに氷を1つ。ウイスキーと水を半分ずつ入れてぐいっとのみ。いつでも飲みたい時に、気分よく。冷の日本酒が一番好きなんだけど、飲みすぎてしまうので、近頃はウイスキー。いい音楽（例えばハワイサウンドetc.）があれば最高なんだけど。

一番最高は、海で寝起きにやる冷たいビール一杯。それだけで、とつてもものんびりしてしまう。

“かつらぎ”を紹介します。はちやめちやなマスタ。彼の笑顔と、はちやめちやなお客様達の歌声を聞くと、日常生活の暗さをだれでも忘れることうけあいです。

3000YEN位持って、みんなの心構えはエンターティナーのつもりだ。

生田東門筋入ルの“かつらぎ”へ、笑顔で“コンニチワ”と、ドアを押してみよう。



■かつらぎ
神戸市中央区下山手1丁目4-6
TEL078-331-4652
7:00PM~2:00AM



山田 恭正さん

□お店もお酒も気分でありたい

四宮さをり ▲広告代、理店勤務V

板張りの急な階段をのぼりつめた所に店はある。ドアをあけると心地よいJAZZが流れている。仕事で落ち込んだ時、うれしいことがあった時、理由なく飲みたい時、みんなひっくるめてここ「ローハイド」へ来る。分厚い木製のカウンターのむこうに洋酒のならんだ棚があり（その数にも驚かされる）、棚のない壁面には知人の作ったコラージュが額にはいつている。何よりも天井の高さと椅子のバランスがいい。居心地のよい店である。

ここで飲むのは、アマレットというお酒。その昔、初老の紳士と飲んだ時、私を酔わそうとして（そう信じて疑わない）勧められたもので、その実、その紳士が酔ってしまつて以来、病みつきになっている。琥珀色の甘いお酒に、杏の干したものをのつけてくれる。私のいっとう好きなお酒。こういう店で、一人グラスを傾けるのは生意気かもしれない。しかし、絶対ブンキになれる。グッドバーの夜は長いのである。



■バー・ローハイド
神戸市中央区北長狭通1丁目10-1
TEL078-331-8678
5:00PM~11:30PM 日・祝休み
オーナーは関学OBの山本さん親子



四宮さをりさん

from SAKE to all LIQUORS in full
and MINIATURE bottles



LIQUOR SHOP **UMETANI**

KOBE MOTOMACHI ICHIBAN-GAI

TEL KOBE 331-1709

本場中国銘酒全般 神戸南京街



(有) 田 中 商 店

神戸市中央区元町通1丁目、南京街

TEL 321-2488

神戸の酒販店ごあんない

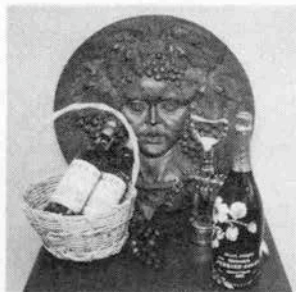
●
お酒を愛する
神戸の人々に…。

灘の酒 世界の酒
そして世界のワインを
おとどけします。



カット／成田
徹

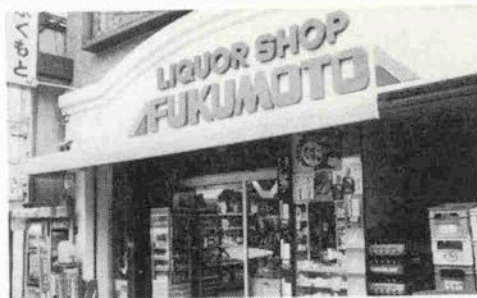
世界各国のワインを1,500種、常時貯蔵



神戸ワインセラー 今井商店

神戸市中央区中山手通1丁目バス停前、北側
TEL 221-1328

12時まで営業。スコッチ・バーボン種類豊富



LIQUOR SHOP FUKUMOTO

神戸市中央区中山手通1丁目7-15
TEL 331-4840・332-3205

神戸唯一の中国酒専門卸、小売店



栄 康 株式会社

神戸市中央区・生田新道添い、県民会館東
TEL 331-2713~4・2404

洋酒・酒・たばこ迅速に配達及び両替



株式会社 南谷博巳商店

神戸市中央区中山手通1丁目2
TEL 321-3111~3

KOBEで乾杯! 世界の洋酒

いい酒にはいい酒場があり
そしていい出会いがあります。



サントリー
ピュア・モルト
ウイスキー

山崎



樽のモルトを、
そのままに。

760ml 10,000円



ニッカウキスキー

スーパーニッカ

●LIVE BEER● (ライブビア)

アサヒ生ビールは
ビール本来の“うまみ”の成分をいかした
ナチュラルなつくり。
だから、おいしさ生きてるくライブビア。

アサヒビール株式会社

21世紀へ乾杯
KIRIN

キリンビール株式会社

●文と文●岩田健三郎

酒蔵 エミジ

ぼくは子どもの

頃、酒蔵の近くに住んでいた。酒蔵の間を

ぬけた向うに長屋があって、その奥に、住んでいるおじいちゃんに、あずけられ、たのや。蔵の間の暗い路地を帰ってゆくと、気持ちまで決む心地がした。

くみこりが、はげしい、長屋を通るんが、いや、たんや。きま、て、こ、う、き、にお、さんが、三、人、座、て、酒を飲んでる。通るばくに「お、お、お、坊、い、ま、帰、り

があ。ど、つ、こ、に、座、て、お、さん、の、男、前、の、顔、描、い、て、く、れ、い、つ」と、ゆう、ん、や、た

ぼくは「絵の上手な子」や、たんや。う、つ、向、い、て、走、り、ぬ、け、も、て、口、中、で、「他、人、の

ことより、お、さん、と、この、加、代、ね、え、ち、ゃ、ん、の、心、配、で、も、こ、と、れ、」と、つ、ぶ、や、い、と、た

加、代、ね、え、ち、ゃ、ん、父、な、し、子、は、ら、ん、で、も、ど、つ、て、き、と、た、の、や、が、居、る、が、た、の、や、る

ご、き、ど、こ、が、へ、行、つ、て、こ、も、た。「な、あ、け、ん、坊、よ。お、ま、え、も、男、や。所、帯、も、つ、前、に、女

掘、く、と、ま、や、あ、そ、の、娘、子、に、親、が、あ、る、こ、と、を、た、れ、ん、で、く、れ、い、や、あ、」と、酔、っ、た

お、さん、は、ゆ、う、て、い、た。大、阪、に、行、つ、た、も、ど、り、ふ、ー、と、御、見、彩、で、途、中、下、車、し、て

酒蔵を歩くこと

がある。蔵の間

の、ひんやりし

た路地を

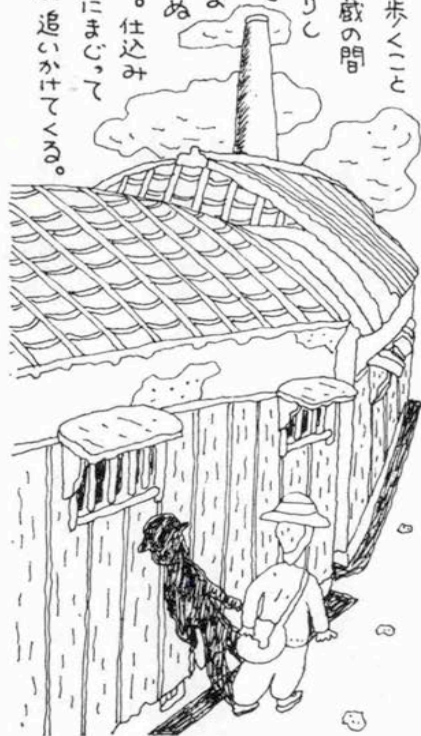
せかれるよ

うに走りぬ

けてみる。仕込み

酒の香りにまぎ、て

三十年前が追いかけてくる。



—美しさには理由があります。

わけ

着物の美しさは着る人の
心がけしだい。



- 雨や泥ハネ、コーヒーにお酒などの水ものには要注意。
- 火や高熱に近づいてはいけません。
- 脱いだ後は、必ずハンガーにさげて湿気抜きを。
- しまう前には必ず全体をチェック。シミ、キズ、ほつれがあれば専門家にご相談ください。

SINCE 1933



ニシジマ

本社／神戸市灘区配田町1丁目2-16

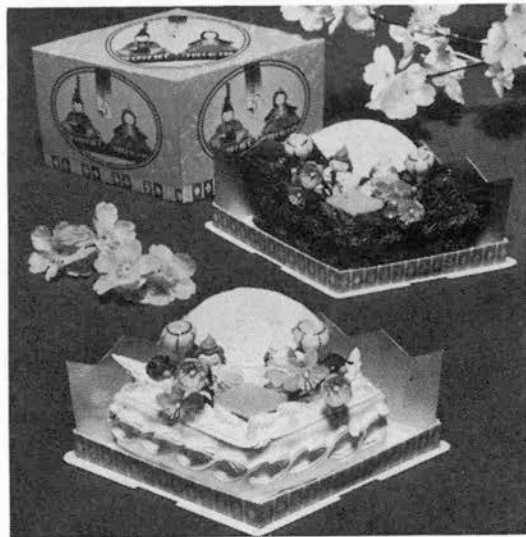
本社／078-651-2440 ■大阪支社／06-653-1332 ■ロープ・ニシジマ／078-332-2440
山手店／078-221-2440 ■宝塚店／0797-72-0810 ■リフォーム・フルフル／078-221-9110

三月三日はひな祭り

嬉しい、嬉しい

ひなまつりには

菱形デコレーションをどうぞ…



- | | |
|----------------|---------------|
| ★クリーム・チョコレート 小 | ¥1200 |
| ★クリーム・チョコレート 大 | ¥1800 |
| ★生クリーム 大 | ¥2000 |
| ★ベアードル | (生クリーム) ¥1000 |

北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市中央区熊内町1-8 TEL 221-1164